

高齢者の薬に詳しくなって、認知症ケアの腕を上げよう

認知症ケアが上達する薬の知識

東京
会場

薬によってお年寄りがどう変わるかを知らなければ、
これからの高齢者介護はできない！

横浜
会場

2018年

日時: 10月14日(日) 10:30~16:00

会場: 総合ケアセンター駒場苑
(2階)

(東京都目黒区大橋 2-19-1)

☆京王井の頭線「駒場東大前」駅西口より徒歩5分

2018年

日時: 10月24日(水) 10:30~16:00

会場: 横浜情報文化センター
(大会議室)

(神奈川県横浜市中区大通 11)

☆JR「関内」駅南口より徒歩10分、
みなとみらい線「日本大通り」駅3番出口直結

< 認知症介護&医療の全てが分かる1日コース >

【講師】

ひがしだ つとむ

東田 勉



フリーライター。介護・福祉・医療分野の綿密な取材をもとに執筆した著書は多数。

2014年に刊行された『認知症の「真実」』（講談社現代新書）はベストセラーに。長尾和宏医師との共著『認知症の薬をやめると認知症がよくなる人がいるって本当ですか?』（現代書林）、村瀬孝生氏との共著『認知症をつくっているのは誰なのか』（SB新書）、近著に『完全図解 世界一役に立つ介護保険の本』（講談社）がある。

へ
プ
ロ
グ
ラ
ム
▽

10:30 ~ 11:30 認知症医療の最前線の動き

なぜ認知症はこんなに増えたのか／海外から批判されている日本の認知症対策／症状による4大認知症の見分け方／高齢になるほど増える合併と移行

11:45 ~ 12:45 抗認知症薬のメリットとデメリット

中核症状とBPSDへの薬の使い分け／抗認知症薬の増量規定／いまさら聞けないアリセプトの作用と副作用／認知症のコミュニケーション障害にどう対応するか

(昼食)

13:45 ~ 14:45 高齢者への薬物療法の極意

第一線の認知症医が導き出した結論／抗認知症薬が認知症を悪化させる／コウノメソッドの画期的な投与方法／リバスチグミンとシロスタゾール／意識障害とせん妄への対応

15:00 ~ 16:00 介護職は何ができるのか

デビルメソッドからお年寄りを救い出せ／声をあげ始めた医師たち／アルツハイマー病の真の問題とは何か／心理学からのアプローチと介護からのアプローチ

*受講料はお送りしません。満員でお断りする場合はみ一週間以内にご連絡さし上げます。

【受講料：6,000円】

*受講料は当日会場で承ります。

主催

なるほどケア塾

〒189-0011

東京都東村山市恩多町 3-39-13-101 榊園窓社内

お問い合わせ

☎042-306-3771

お申し込みはこちらへ Fax

Fax: 042-306-3772

<参加人数>

<参加者名>

*施設の場合は施設名もご記入ください。

<住所>〒

(自宅・職場)

<TEL>

<FAX>

10/14(日) 東京
()名

10/24(水) 横浜
()名